

「市長と語ろう あんトーク」から

昨年7月から11月にかけて、各地区公民館等で「市長と語ろう あんトーク」を開催し、市長以下市の職員が、参加者から地域の課題等をお聞きしました。主な内容について、分野ごとに紹介します。

子ども

市の子ども関連施策

◆意見 市が新しく取り組む子ども関連の事業について、教えてください。

◆回答 一点目に、来年度から全ての小学校の児童クラブで、5・6年生の受け入れを開始します。これに先立ち、昨年の夏休みに5・6年生の受け入れを試行的に行いましたが、利用者はさほど多くなく、4年生以下の児童を優先しながら受け入れを5・6年生まで拡大します。

二点目に、来年度から第3子以降の給食費の無料化を行います。小中



改修が完了し、現在多くの市民に利用されている作手野外センター。今年度は茶臼山野外センターを改修中です

●開催日／場所

《地域別》

- 7月23日／作野公民館
- 8月23日／安祥福祉センター
- 10月26日／明祥公民館

《団体別》

- ・安城市消費生活学校
8月22日／市民会館
- ・池浦町愛護会
8月27日／池浦町内会事務所
- ・エコりんりん
10月14日／市民交流センター
- ・安城市PTA連絡協議会
10月21日／文化センター
- ・安城市保育所父母の会連絡協議会
11月14日／中部調理場
- ・安城市町内会長連絡協議会
11月18日／市役所
- ・安城市民間保育園会
11月21日／市役所

いは教育環境の整備に関して本市は相当力を入れている自治体であると自負しています。健全財政を堅持している本市ですが、社会情勢から先々の見通しは厳しくなることが予想されます。しかしながら、子ども達の健全な育ちのために、子どもの教育には引き続き力を入れていく考えです。

アレルギー対応

◆意見 息子がアレルギーを持っていて、保育園入園時に園と話し合いをし、除去食対応をしていただきました。小学校ではどう対応していただけますか。市の方針を示してほしいです。

◆回答 小学校の児童のアレルギー対応として、どんなアレルギー物質が給食に入っているかを案内してい

る企画も用意しています。今後も、引き続きお父さん達に学校に来ていただける機会を増やしていく考えてす。

自転車の乗り方

◆意見 生徒が自転車で道路を二列になつて走る等、危険な乗り方をしているの、学校で指導してほしい。

◆回答 道路交通法が改正され、改めて学校でも指導している他、市の関係部署や安城警察署の協力を得ながら総動員で指導していますが、目に余るところがあるのは事実です。

これはお願いですが、もし生徒の危険運転行為を見かけましたら、学校あるいは教育委員会に連絡いただくか、その場でご指導いただけると大変ありがたいと思います。

まちづくり

名鉄新安城駅について

◆意見 名鉄新安城駅の橋上駅舎への改修に伴い、地下通路を廃止すると聞きました。地下通路は自転車用の通路として残してはどうですか。

◆回答 地下通路の存続を願う多くの声が届いているのは事実です。しかしながら、名鉄新安城駅は地下通路を含め建物全体がかなり老朽化し

ます。調理場で除去食を準備するためには、アレルギー混入防止のために別に部屋が必要となります。北部調理場の改築を予定しているため、そのタイミングで施設整備をし、調理員や学校現場と協議しながら除去食対応を開始していく考えです。

それまでは、家庭と学校で密な連携を取りながら、アレルギーを持つ児童に十分な配慮をしていきます。

子どもとスマートフォン

◆意見 子どものスマートフォンとの付き合い方について、市の考えを教えてください。

◆回答 本市では平成26年度末、各中学校から代表生徒が2名ずつ集まり、子ども達自身による「安城ケータイ・スマホ宣言」を作成しました。現在、小学校では高学年の教室に、

ており、耐震性に問題があります。さらに地下通路は天井高が低く、自転車でも通り抜ける際に頭をぶつける可能性もありますし、階段の傾斜がかなりきついいため、なだらかにしようとするロータリーまで延ばさなければいけません。

駅上に橋をかけて自由通路を作る予定ですが、歩行者はエスカレーターやエレベーターで自由に往来できるものの、自転車はこの橋を渡ることはできません。今、名鉄と様々な案について協議しているところです。

J R三河安城駅北口について

◆意見 J R三河安城駅はこのままだと完全に北口が裏口化してしまうと思います。リニア新幹線の開業までにプロジェクトチームを作り、三河安城地区の開発について考えるべきではありませんか。

◆回答 市街化区域拡大のための土地画整理事業には巨額の財政投資が必要となります。三河安城地区において、駅の北側・南側の区画整理を同時に行うのは不可能で、議論の結果、まず南側を手がけていこうということになりました。よって北側における区画整理等の方がかなり都市基盤整備は、少し先の話となります。

しかしながら、J R三河安城駅及びその周辺施設について、リニュー

安城ケータイ・スマホ宣言

ケータイ・スマホは、小中学生の契約はできません。そのことをふまえ、保護者とよく相談の上、次のことを守って使うようにします。

わたしたちは、

- 1 個人情報のをせたり、人を傷つけることばを書き込んだりしません。
●個人情報は、名前や住所、年齢、顔写真などを指します。
●メッセージを無視することや写真をのせることも人を傷つけることがあります。
- 2 何かをしながら、ケータイ・スマホを使いません。
●自転車乗車中や歩行中に使うことは、身の危険につながります。
●食事中や会話中に使うことは、相手に対して失礼なことです。
- 3 夜9時以降朝6時まで、家族以外との通話やメッセージのやりとりをしません。
●習い事の送り迎えなどで、保護者へ連絡をとることはかまいません。
●調べ学習などで使うときは、保護者に確認します。
- 4 勉強中は、最低限のことしかケータイ・スマホを使いません。
●勉強するときは、部屋に持っていくことをやめます。
- 5 定期的に、大人に相談・報告します。
●自分だけで解決しようと、電話をかけた相手会ったりすることは危険です。
●課金などは、保護者の許可をとってから行います。
●トラブルにあったときは、一人で抱え込まず、大人に相談します。



平成27年1月20日
安城市ふれあいサミットにて採択



防犯灯や防犯カメラの設置要望については、町内会にご相談ください。

◆意見 私が住んでいる地域は、夜になると真っ暗で、事故や不審者が多く、子供たちの安全が心配です。街灯や信号機、防犯カメラの増設をしてほしいです。

◆回答 地域の防犯に関する心配については、市民安全課にご相談ください。不審者情報は市役所にも届いており、青色防犯パトロールカーで重点的に警戒する等、警察と協力しながらできる限りの対応をしていきます。

助の精神にのっとり、最低でも3日分、可能なら1週間分の食料や物資の備蓄をお願いしたいと思います。

防犯灯や信号機の設置について

アルを考えていかなければいけないと思っています。また、種鶏場の移転の話が県から持ち上がってきており、平成30年に三河安城駅が開業30周年を迎えるのをきっかけとし、開発のあり方について検討を進めていきたいと思っています。

南部地域について

◆意見 市内では北部や桜井地区等で都市計画が進んでいますが、南部地区の今後の計画はどうなっていますか。

◆回答 南部地区は石川丈山や都築弥厚の故郷ですから、人口がどんどん増えていくまちとするよりは、人々が静かに暮らせるまち、また、歴史を辿ることのできる散歩道のあるまちと位置づけたいと思っています。

その一つとして、半場川の堤防を利用したデンパークから油ヶ淵水辺公園までの散策ルートを考えています。しかし、半場川の改修は下渡瀬橋までしか進んでおらず、油ヶ淵水辺公園の開園にも時間がかかります。そのため、散策ルートは当面、一部分の暫定的な整備を考えています。現在は、整備のためにはどんな問題点があるのか、県や関係機関とどういった調整をすれば実現するのかについて、検討を始めているところです。

エコサイクルシティについて

◆意見 見直しを行っている「エコサイクルシティ計画」について、変更点を教えてください。

◆回答 エコサイクルシティ計画は、その趣旨をこれまでの「環境」から「健康」に置き換え、計画の見直しを行っています。これまでの、意識づくり・空間づくり・仕組みづくりという3本柱は継承し、各事業の継続・廃止を検討しながら、新しい施策も取り入れ見直しています。

市内の自転車道については、全長74・5kmのうち整備が完了しているのは10%弱です。平成26年に自転車利用ガイドラインが改定され、自転車走行空間を車道に整備する混在型が認められたため、今後はスピードアップして整備が進められます。JR安城駅とJR三河安城駅、名鉄新安城駅の3駅を結ぶルートで、車道に自転車走行場所を示す青い矢羽根のペイントをしていきます。

防災・防犯

救護物資の分配について

◆意見 これまでの大震災では、救護物資が適切に配布されず必要としている人になかなか行き届かないという問題が起こっていました。安城



市駐輪場に設置されている防犯カメラ

町内会が各要望に優先順位をつけて設置します。信号機は警察が設置するもので、県の予算の都合もあると思われる。町内会を通して粘り強く要望を出し続けることをお勧めします。

防犯灯のLED化について

◆意見 LEDの防犯灯はとても明るくて助かっています。ただ、年間5基程度をLEDに変えてもらっていますが、町内には50基あるので、もう少し速いペースで取り替えてもらえないでしょうか。

◆回答 蛍光灯と比較するとLEDは明るい・消費電力が少ない・寿命が長いことから、現在、防犯灯の設置補助はLEDに限定しています。蛍光灯の防犯灯も順次LEDに更新していますが、ご指摘のとおり、今のペースでは十数年かかります。LED化は現状3割程度までしか進ん

市では、救護物資について関係団体と協定は結んでいますか。また、市の職員はこの避難所へ行き何をするか等、対応を決めていますか。

◆回答 救護物資等の協定ですが、物資だけでなく人的支援を含め、他の自治体等と約100程締結しています。締結から時間が経過しているものもあり、昨年度から全ての協定を有効性のあるものにするため見直しをし、締結先との連絡を密にとる作業を進めている段階です。遅くとも来年度中に全ての協定の見直しを完了させ、有事の際、すぐに動けるような体制をつくります。

市職員の避難所への配置は、すでに各公民館に誰が集まるということを職員に示してあり、災害発生時にはいち早く駆けつけられる体制をとっています。

避難所について

◆意見 大災害発生時、小学校区内の全ての住民が小学校の体育館に来たら、とても入り切らないと思います。そういう場合は、市からこの町内の人はこの避難所へ等の指示があるのでしょうか。また、地震後も自宅で生活を続ける場合、物資の配給はどのように行われますか。

◆回答 市内には小学校だけでなく公民館区域ごとにいろいろな避難所があります。地域の全ての避難所で

でおらず、今後は安城市内全ての防犯灯の早期LED化を目指し、取り組んでまいります。

その他

在宅医療サポートについて

◆意見 東端町に住んでおり、碧南市民病院にかかることが多いです。今後、安城市は総合病院と個人の開業医が患者データを共有しながら、在宅医療サポートを進めていくと聞きました。碧南市民病院と安城市内の医療機関の連携はどの程度とれているのか教えてください。

◆回答 在宅医療の連携を推進する「在宅医療サポートセンター事業」という県の事業を安城市医師会が受け、八千代病院内に設置されています。例えば、碧南市民病院に入院された安城の方が在宅に戻るときに、往診可能な地域の開業医の紹介等を行います。スタートしてまだ1年半です。でも、もう少し待っていただと、碧南市民病院と安城市の開業医の連携が深まってくると思います。

文化センター改修について

◆意見 文化センターはどのように改修するのですか。

◆回答 当初は天井の落下を防止す

受入可能人数が上回ったとしても、震災直後はできるだけ多くの避難者を受け入れる体制をとりますが、段階的に余裕のある避難所への移動をお願いすることもと思っています。本市では町内会ごとの避難所の指定をしています。それぞれの判断で最も近い避難所や行きやすい避難所に避難してください。

自宅にそのまま住まわれる方は、避難所に個人単位あるいはマンション単位で人数等を報告いただき、その避難所に直接物資を受け取りに行っていたことになります。しかしながら、市の備蓄品も数に限りがあります。市の避難想定者数約1万4000人に対し、備蓄食料は6万食程度しかありませんので、日ごろから自分の命は自分で守るという自



毎年実施している市総合防災訓練では、市職員が被害状況の情報収集訓練等を行っています

る耐震改修を計画していましたが、併せてプラネタリウムの機器の更新のほか、ホールの音響効果を向上させるための設備の更新や会議室等をより多くの人に利用してもらうための部屋の形態の変更・展示パネルの増設等を行います。また、3階への荷物の運搬を容易にする大型のエレベーターの新設等も考えています。

市長への意見

お寄せください

本市では、「市長へのメール」 「ご意見BOX」にて、皆さんのご意見・ご提案をお待ちしております。ご意見とその回答の要旨は、市公式ウェブサイトで公表しています。

●市長へのメール 市公式ウェブサイトに「市長へのメール」ページの専用フォームから送信できます。トップページ右欄の「市長のページ」からアクセスしてください

●ご意見BOX 切手不要で郵送できる用紙です。市役所案内や各地区公民館等で配布しています